

東京高円寺阿波おどり開幕！

29日、午後5時、東京の夏の風物詩「東京高円寺阿波おどり」がいよいよ始まりました。開会式には、田中良杉並区長をはじめ、阿波おどりの本場徳島市の原秀樹（はらひでき）市長も駆け付け、踊り手たちを激励。そして、テープカットを合図に、8つの演舞場から一斉に踊りがスタートしました。

「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損損」のお馴染みの掛け声。まさに、これが阿波おどりのコンセプトです。高円寺には、2日間で、1万人の踊り手に100万人の観客が繰り出します。鉦や太鼓、笛のお囃子に合わせて、揃いの浴衣や法被で踊る姿を見ていると、観客席にいても自然と体が動き出します。そして、手拍子したくなります。踊り手の頑張りに、激励の声を掛けたくくなります。気付くと、みんな笑顔になります。その阿波おどりが、いよいよ始まりました。

高円寺駅南口の高南通りに設けられた中央演舞場の開会式には、田中良杉並区長や徳島市の原秀樹市長などが駆け付けました。会場では、午後5時の開幕を待つ観客が詰めかけ、熱気に包まれています。徳島市の原市長は、「長い歴史を持つ阿波おどりが全国に広がり、特に高円寺の方々の熱意でこうして根付いていることに敬意を表します。」と述べるとともに「ぜひ、本場徳島にも足を運んでいただきたい」とあいさつしました。その後、テープカットを合図に、8つの演舞場で一斉にまつりがスタートしました。夏休み最後の週末ということもあって、例年同様の多くの人出となりました。「東京高円寺阿波おどり」は、明日、30日（日）も開催されます。ぜひ、会場であつりの鼓動を感じてください！



《第59回東京高円寺阿波おどり》

【日程】8月29日（土）・30日（日）午後5時～午後8時

【会場】JR「高円寺駅」南北の商店街と高南通りを中心とした総延長約2kmのコースに8演舞場が設けられます。

【雨天の場合】雨天の場合の決行・中止は、当日の午前10時までに決定します。

下記のホームページやFacebookで確認ができます。

【問い合わせ先】NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会

TEL：3312-2728 URL：<http://www.koenji-awaodori.com/>

【問い合わせ先】

NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会 TEL：3312-2728